

# カエルと刺激と 草餅



mikatuki98

## 『カエルの夏生とネコの秋子』

---

カエルの夏生は、ハッキリと態度には表明しないが、ネコの秋子に対して秘めた思いを胸に抱いている。

自分からキッカケを作る事が苦手なので、いつも低木の枝に止まっては、木の下を通り掛かるネコの秋子をジッと見ているだけの日もあったりする。

ふと気がつくと、いつの間にかカエルの夏生がネコの秋子の側にいる、と言う事もありそうだ。カエルの夏生は、自分から積極的に好意を示すと、ネコの秋子に迷惑をかけるのではないかと内心不安があるので何かの行動に移す事は希だろう。

しかし、ネコの秋子から頼み事をしたり、誘いをかければ、カエルの夏生は喜び勇んで跳ねあがり、満面の笑みでOKしてくれるに違いない。

更に、カエルの夏生は、ネコの秋子の事を寛大で奉仕精神に溢れたネコだと思っている。

他の動物たちのために行動する事を苦にせず、積極的に動く姿に感心しているのだ。

そんなネコの秋子の面倒見が良くて、頼りになるところにも好感を持っている。

それに何より、ネコの秋子の上品で洗練された毛並みは、つるつるべったりな自分の皮膚には無い美しさとして好ましく思っているようだ。 了

## 『刺激を受けたケロタン』

---

ケロタンはビキちゃんを、とても刺激的なカエルの仲間だと思っています。

今まで知らなかった井戸の外の世界を見せてくれたり、今まで気づかなかったカエルとしての自分自身の魅力に気づかせてくれたりと、一緒に過ごす新鮮なカエル体験が出来る相手だと感じています。

まだまだ知らない井戸の外での出来事や知りたい事がたくさんある事をビキちゃんが気づかせてくれた、とケロタンは思っているのでしょう。

また、ビキちゃんはミステリアスで魅力的なので、ケロタンはビキちゃんの事をもっと知りたいと思っています。

ビキちゃんを真似たり近づこうとして、いきなりイメージチェンジをしたり、毎日ジャンプの練習に励んだりして、これまで未経験の事にも挑戦するかも知れません。

頑張れケロタン！了

## 『草餅と水羊羹』

---

草餅は水羊羹に対してあまり興味を持っていないかも知れません。

水羊羹と深く関わろうと言う気持ちがありません。

草餅の興味は、別の事に向かっているようです。

例えば、草の色具合を研究するとか……。

その為、水羊羹が草餅と関わり合いを求めても、上手く避けられてしまいそうです。

「水羊羹くん、君は冷蔵庫で冷やされた方が良いと思うよ。じゃあ、僕は寒い所は苦手なんで……」

または過去には水羊羹への気持ちがあったけれど、今は薄れてしまったのかも知れません。

果たして水羊羹へのどんな気持ちが草餅にあったのでしょうか。

それは永遠の謎として草餅のハートボックスに隠されたまま、水羊羹は知る由もないでしょう。

いずれ水羊羹は自分が小豆で隣に抹茶、そのまた隣には栗入り練りが一緒に並んでいることに気づくことでしょう。 了